JOC ジュニアオリンピックカップ大会

第39回全日本ヤング総合馬術大会2018

CCI1* Yamanashi 2018

実 施 要 項

主　催 ： 公益社団法人 日本馬術連盟
運　営 ： 全日本総合馬術大会実行委員会
後　援 ： 公益財団法人　日本オリンピック委員会
　　日本中央競馬会

1. 期　　日　　平成30年5月25日（金）～27日（日）

2. 会　　場　　山梨県馬術競技場
　　山梨県北杜市小淵沢町10060-3

3. 競技種目

第 1 競技　全日本総合馬術選手ﾔﾝｸﾞﾗｲﾀﾞｰ選手権／JOC ｼﾞｭﾆｱｵﾘﾝﾋﾟｯｸｶｯﾌﾟ （CNC-Y レベル）

馬場馬術競技	F.E.I.2009 年総合馬術競技・ 馬場馬術課目 CCI/CIC ツースターA
クロスカントリー競技	全　長　2,500～3,000m　最大分速 500m 飛越数　20～26 個 高　さ　固定障害　1.05m 以内 ブラシ障害　1.20m 以内 幅　最も高い部分　1.30m 以内 土台　1.80m 以内 高さのない障害　2.40m 以内 飛び降り　1.40m 以内
障害飛越競技	全　長　350m～400m 以内　分速 350m 障害数　11 個以内（13 飛越以内） 高　さ　1.10m 以内 幅　1.30m 以内 土台／三段横木　1.50m 以内

第 2 競技　EV100 競技（一般班）
第 3 競技　EV100 競技（ジュニア班）

馬場馬術競技	J.E.F. 総合馬術　上級課目　2017
クロスカントリー競技	全　長　2,000～2,500m　最大分速 500m 飛越数　26 個以内 高　さ　固定障害　1.00m 以内 ブラシ障害　1.20m 以内 幅　最も高い部分　1.30m 以内 土台　1.80m 以内 高さのない障害　2.40m 以内 飛び降り　1.40m 以内
障害飛越競技	全　長　350m～400m　分速 350m 障害数　10～11 個（13 飛越以内） 高　さ　1.05m 以内 幅　1.30m 以内 土台／三段横木　1.70m 以内

第 4 競技　EV90 競技（一般班）
第 5 競技　EV90 競技（ジュニア班）

馬場馬術競技	J.E.F.総合馬術　中級課目　2017
クロスカントリー競技	全　長　1,800～2,300m　最大分速 450m 飛越数　22 個以内 高　さ　固定障害　0.90m 以内 ブラシ障害　1.10m 以内 幅　最も高い部分　1.20m 以内 土台　1.50m 以内 高さのない障害　2.00m 以内 飛び降り　1.20m 以内
障害飛越競技	全　長　350m～400m　分速 350m 障害数　9～10 個（12 飛越以内） 高　さ　1.00m 以内 幅　1.20m 以内 土台／三段横木　1.50m 以内

第 6 競技　EV80 競技（一般班）
第 7 競技　EV80 競技（ジュニア班）

馬場馬術競技	J.E.F.総合馬術　初級課目　2008A
クロスカントリー競技	全　長　1,500～2,000m　最大分速 400m 飛越数　18 個以内 高　さ　固定障害　0.80m 以内 ブラシ障害　1.00m 以内 幅　最も高い部分　1.10m 以内 土台　1.20m 以内 高さのない障害　1.60m 以内 飛び降り　1.00m 以内
障害飛越競技	全　長　350m～400m　分速 350m 障害数　9～10 個（12 飛越以内） 高　さ　0.90m 以内 幅　1.10m 以内 土台／三段横木　1.30m 以内

第8競技　国体総合馬術競技 A

馬場馬術競技	F.E.I.2015 年総合馬術競技・馬場馬術課目ツースターB
障害飛越競技	全 長　600m以内　分速 350m 障害数　10～11 個 高 さ　1.20m 以内 幅　1.40m 以内

第9競技　国体総合馬術競技 B

馬場馬術競技	J.E.F. 総合馬術　上級課目　2017
障害飛越競技	全 長　350m～400m　分速 350m 障害数　10～11個(13飛越以内) 高 さ　1.05m 以内 幅　1.30m 以内

第10競技　国体総合馬術競技 C

馬場馬術競技	J.E.F.総合馬術　中級課目　2017
障害飛越競技	全 長　350m～400m　分速 350m 障害数　9～10 個以内(12飛越以内) 高 さ　1.00m 以内 幅　1.20m 以内

第11競技CCI1 ＊Yamanashi競技

馬場馬術競技	F.E.I.2015 年総合馬術競技・ 馬場馬術課目 CCI/CIC ワンスターB
クロスカントリー競技	全　長　3,640m～4,680m　最大分速 520m 飛越数　25～30 個 高　さ　固定障害　1.10m 以内 ブラシ障害　1.30m 以内 幅　最も高い部分　1.40m 以内 土台　2.10m 以内 高さのない障害　2.80m 以内 飛び降り　1.60m 以内
障害飛越競技	全　長　600m 以内　分速 350m 障害数　10～11 個（13 飛越以内） 高　さ　1.15m 以内 幅　オクサー　1.35m 以内 三段横木　1.55m 以内

4. 競技日程

	第1～7競技 及びCCI1＊ Yamanashi	第8・9・10競技（国体総合馬術競技）
5月25日（金）	馬場馬術競技	馬場馬術競技
5月26日（土）	クロスカントリー競技	
5月27日（日）	障害馬術競技	障害馬術競技

5. 競技規程

《全日本ヤング総合馬術大会》　日本馬術連盟競技会規程　第30版
日本馬術連盟獣医規程

《CCI1＊ Yamanashi》　国際馬術連盟総合馬術規程　第25版
国際馬術連盟獣医規程　第14版

6. 参加資格

（1）　選　手

《ヤングライダー選手権競技》

① 参加申込の時点で日本馬術連盟の会員であり、騎乗者資格B級以上の者。

② 年齢制限は、日本馬術連盟競技会規程の年齢区分とする。（ヤングライダー16～22歳）

③ 同一競技において、異なる馬匹で2回まで出場できる。
ただし、参加申込選手が多数となった場合は制限することがある。

④ 申し込み時において、未成年者は、保護者の承諾書を添付すること。

⑤ 公認競技のEV90（ノービス）クラスにおいて、完走の実績があること。（エントリー時に完走実績を入力すること）

⑥ 選手の所属団体名は、参加申込時点での申告によるが、本連盟の団体会員のみ使用できる。

《EV100／EV90／EV80／国体総合馬術競技》

① 選手は、参加申込の時点で日本馬術連盟の会員であり、騎乗者資格B級以上の者。

② 同一競技において、選手は、異なる馬匹で3回まで出場できる。
ただし、参加申込選手が多数となった場合は制限することがある。

③ 申し込み時点において、未成年者は、保護者の承諾書を添付のこと。

④ EV100、EV90競技に出場する選手は、出場する競技の1クラス下あるいはそれ以上のクラスの公認競技において、クロスカントリー競技の完走の実績があること（申し込み時に主な完走実績を入力すること）。

⑤ 選手の所属団体名は、参加申込時点での申告によるが、本連盟の団体会員名のみ使用できる。

⑥ ジュニア班の年齢制限は、18歳となる暦年の終わりまでとする。

《CCI1*競技》

① 出場する選手の参加資格は FEI 規程による。

② 出場する選手は 2018 年の FEI 登録を完了していること。

（2）　馬　匹

《ヤングライダー選手権競技》

① 参加馬匹は、参加申込の時点で日本馬術連盟の登録馬であること。

② 他競技に重複して参加することができない。

③ 公認競技の EV90（ノービス）クラスにおいて、完走の実績があること
（エントリー時に完走実績を入力すること）。

④ 同一人馬が複数の競技に参加することはできない。

《EV100／EV90／EV80／国体総合馬術競技》

① 参加馬匹は、参加申込の時点で日本馬術連盟の登録馬であること。

② 第 2-10 競技に出場する馬匹は、同一競技内での出場は1回、複数の競技出場は2回を限度とするが、実行委員会が馬匹の福祉のために出場を認めない場合がある。

③ 第 2-5 競技に出場するすべての馬匹は、出場する競技の1クラス下あるいはそれ以上のクラスの公認競技において、クロスカントリー競技の完走の実績があること（申し込み時に主

な完走実績を入力すること）。

《CCI1*競技》

① 出場する馬匹の参加資格は FEI 規程による。
② 出場する馬匹は 2018 年の FEI 登録を完了していること。
③ 他の競技に重複して出場することができない。

7. 表彰式・褒賞

（1）　表彰式は最終日の競技終了後に行う。

（2）　第 1 競技は 10 位までを入賞とし、第1位から第3位までの選手に賞状、メダル、厩舎掛けを贈る。また、入賞者に馬リボンを贈る。

（3）　第1競技の優勝者に JOC ジュニアオリンピックカップ、日本中央競馬会賞を贈る。

（4）　第 1 競技の優勝者には、JEF オフィシャルサポーターのエルメスジャポン社より「オーダーメイドの鞍」が贈られる。

（5）　第 2-11 競技は、第1位に賞杯および賞状を贈る。また、6 位までを入賞とし、入賞者に馬リボンを贈る。

（6）　本大会上位クラスで優秀な成績を得た内国産馬は、内国産優秀乗馬奨励賞の選考対象となる。

8. 参加申込

（1）　締め切り　　平成30年5月1日（火）**オンラインのみ**

（2）　エントリーの変更　　エントリーされている人馬での交代変更のみ受け付ける。
ブリーフィング時まで可。
事前の連絡は FAX にて行うこと（03-3297-5617）。

9. 登録料・参加料

（1）　馬匹登録料（厩舎使用料を含む）　1頭につき　15,000円

（2）　選手参加料

・FEI種目	1回の出場につき	35,000円
・上記以外の種目	1回の出場につき	30,000円
・第8・9・10競技　国体総合馬術競技	1回の出場につき	20,000円

（3）　登録料・参加料は下記口座に、申込締切日までに振り込むこと。

振込み先　：　三井住友銀行　日本橋東支店
（普）7473318
総合馬術本部実行委員会

（4）　一度納入された各種料金は、競技に出場しない場合でも返却しない。
ただし、主催者側の都合により競技を取りやめた場合はこの限りではない。

（5）　選手参加料の内 2,000 円は、任意のオリンピック協賛金とする。

10. 宿　泊

（1）　参加団体につき 1 名の馬取扱者の宿舎を大会実行委員会で用意する（男子に限る）。

（2）　選手、選手関係者の宿舎は各自で手配すること。

11. 防　疫

（1）　下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。

① 馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施し、その接種証明。

- 基礎接種として初回ワクチン接種を実施してから 21 日以上・2 ヵ月以内に 2 回目のワクチン接種を行い、その後、7 ヵ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は 1 年以内に継続的に補強接種を受けていなければならない。
- 競技場に入厩する 6 ヵ月+21 日以内に補強接種（または基礎接種の 2 回目）を受けていなければならない。
- 2008 年 3 月 31 日以前に基礎接種を完了している馬については、基礎接種の後の最初の補強接種は 1 年以内であれば可とする。

（2）　馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前 1 週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。

（3）　馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹸等で消毒すること。

（4）　入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中（3 ヵ月）の馬匹は出場できない。

（5）　上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。

12. 参加馬の入厩および退厩

（1）　入厩期間は平成30年5月24日（木）から27日（日）までとする。

（2）　期間外に滞在を希望する場合は、事前に山梨県馬術競技場と打合せを行ない、申請すること。

（3）　入厩後、直ちに馬の健康手帳、乗馬登録証を大会本部に提出すること。不備がある場合は入厩、出場できない。

13. 馬糧・敷料

（1）　馬糧は各自が持参し、退厩の際は全て持ち帰ること。

（2）　敷料は会場でおが粉を用意する（藁は使用不可）。

14. ナショナル・プログレスチームメンバー

ナショナルチーム規程及びプログレスチーム規程による。

15. ブリーフィング

平成 30 年 5 月 24 日（木）13 時 00 分から競技会場で行う。

16. ホースインスペクション（第1～3競技及びCCI1*）

第 1 回目　平成 30 年 5 月 24 日（木）15 時 00 分から行う。

第 2 回目　平成 30 年 5 月 27 日（日）

17. ドーピング検査

今大会に出場する人馬に対し、ドーピング検査を行う場合がある。

なお、人馬のドーピングコントロールに関しては、各自の責任において管理すること。

18. 2018年アジア競技大会（ジャカルタ・パレンバン）選考

今大会の第11競技（CCI1*）を、2018年アジア競技大会（ジャカルタ・パレンバン）総合馬術競技出場人馬選考対象競技のひとつとする。

19. その他

（1）　競技場内における馬匹の管理責任者は、出場選手とする。

（2）　資格を誤って申し込んだ場合は出場できない。期間中に発見された場合は失格とし、それ以後に実施される競技には出場できない。

（3）　出場順番は本大会実行委員会が抽選により決定する。

（4）　参加申し込みが少数の場合は、その競技を中止することがある。

（5）　参加馬の厩舎は、本大会実行委員会が準備する。

（6）　仮眠所および厩舎地区での火気の使用を禁止し、禁煙とする。

（7）　馬運車および一般車両の移動・駐車は、主催者と山梨県馬事振興センターの指示に従うこと。

（8）　厩舎地区およびその周辺は、参加団体の自主管理とし、貴重品の管理には十分注意すること。

（9）　参加選手は、各自何らかの傷害保険に加入していること。

（10）　大会期間中の万一の事故に対して応急処置は講ずるが、主催者および実行委員会はその責めを負わない。

（11）　山梨県馬術競技場の利用心得を順守すること。

（12）　大会実行委員会からの注意勧告に対し、改善が見られない選手、団体については失格となる場合がある。

（13）　参加選手は野外騎乗中、自身のメディカルカードを外から見えるところに携帯して走行すること。

（14）　参加馬匹は大会期間中、競技会場内（厩舎以外）では馬番号札を必ず着用すること。

（15）　ランキングポイントについては総合ランキング表のとおりとする。